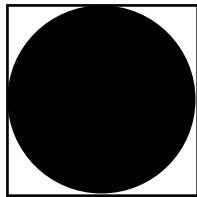


InSEA



公益社団法人 日本美術教育連合 ニュース

No. 148

2016. 9

〒113-0033 東京都文京区本郷 2-30-14 文京ビル 206 号

公益社団法人 日本美術教育連合

発行人 理事長 大坪圭輔

ニュース担当 北川智久

E-mail: kitagawa@elementary-s.tsukuba.ac.jp

新しい時代の造形・美術教育にむけて

公益社団法人 日本美術教育連合理事 西村徳行

先日、衝撃的なニュースを耳にしました。そのニュースとは、ある世界的な金融機関が、自社の人事を人工知能（AI）で決定したというものです。社内のしがらみや利害関係に縛られず、過去のデータからのみ評価される人事は、あるいみ公平かつ公正なものといえるかもしれません。むしろ「AIが決めたもの」ですから、人事に関する愛憎劇も生まれません。人間に代わり、AIが重要な決定や判断を行う時代は、そう遠くのことでないのかもしれないかもしれません。

一方、この人工知能について、情報学者の西垣通は、「AIという機械知は過去のデータに基づくので、安定状態での作業効率は良くても、全く新しい環境条件には対応できない。生物は激変する地球環境の中で生き抜いてきた。この柔軟性こそ生命知の本質ではないか」と、その見解を述べています。

今世紀中には人工知能が人間の能力を超えることで、人間の生活が後戻りできないほどに変容することが予測されています。中央教育審議会教育課程企画特別部会から出された、次期学習指導要領の改訂に向けた基本方針にも、「AIも学習し進化する時代において、人間が学ぶことの本質的な意義や強みを問い直す」という文言があります。

平成26年11月に出された「諮問」をうけて、まもなく「答申」が出される予定です。人工知能が人間と肩を並べ働く時代の中で、人はどのように生きるべきなのか。10月の第50回記念研究発表会、また来年1月に実施予定の造形・美術教育フォーラムでは、そのような時代の新しい造形・美術教育のあり方について、先生方とともに考える機会になることを願っております。両会への多数のご参加を、心よりお待ちしております。

第50回記念 日本美術教育研究発表会2016（案内）

※発表会終了後、50周年記念式典および懇親会を予定しております。※

□日 時 平成28年10月16日（日） 9時30分受付～16時30分閉会（予定）

□会 場 東京家政大学板橋キャンパス 16号館

〒173-8602 東京都板橋区加賀 1-18-1

□主 催 公益社団法人 日本美術教育連合（InSEA-JAPAN）

□後 援 文部科学省 （申請中）

造形・美術教育フォーラム（予告）

□テーマ 『中央教育審議会答申を読む』

中央教育審議会答申が本年の12月に予定されています。これによって、新学習指導要領が目指す教育はどのようなものかを読み解き、これからの教育実践はどうあるべきかを考えます。

□日 時 平成29年1月22日（日） 14:00

□場 所 武蔵野美術大学 新宿サテライト

新宿駅西口5分、新宿センタービル9階

研究局より

第50回記念 日本美術教育研究発表会2016（最終案内）

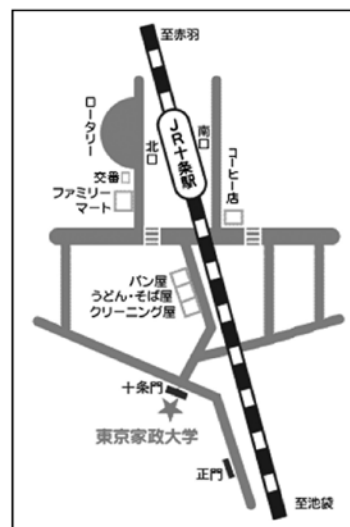
□主催：公益社団法人 日本美術教育連合（InSEA-JAPAN）

□後援：文部科学省（申請中）

□開催日時：2016年 10月16日（日） 9時30分～16時20分

□会場：東京家政大学 板橋キャンパス16号館
〒173-8602 東京都板橋区加賀1-18-1
<http://www.tokyo-kasei.ac.jp/about/access/tabid/99/index.php>
（★16号館は「十条門」を入りすぐ正面です）

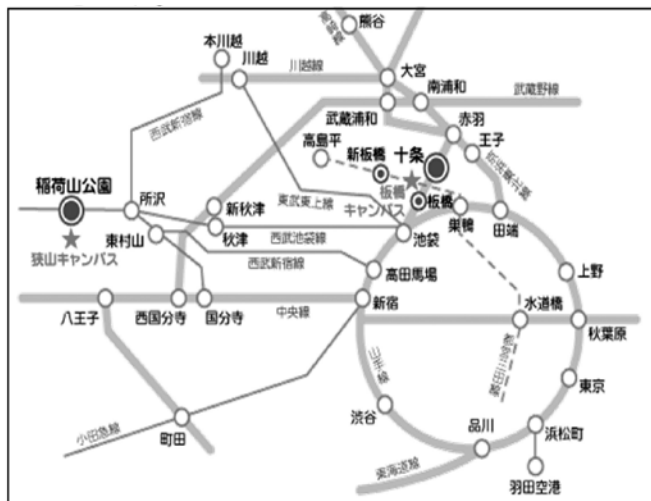
□アクセス：JR埼京線十条駅 下車徒歩 5分
JR埼京線板橋駅 下車徒歩 17分
都営三田線新板橋駅 下車徒歩 12分



□参加資格：会員も会員でない方でも参加
できます。
参加費は一人500円です。
（概要集をさし上げます）
事前申込は不要、お誘い合
わせてご参加下さい。

□昼食：近隣に昼食を購入できる店
はありません。また、学生食堂
が日曜休業のため、昼食はご
持参下さい。

□問合せ先：【事前・事後】山口喜雄^{のぶお}
（研究局長）
nobuoya@cc.utsunomiya-u.ac.jp



□緊急連絡：【当日のみ】西村德行^{とくゆき}（事務局長）携帯電話 080-1043-9426

日本美術教育研究発表会 50周年記念式典

□開催日時：2016年 10月16日（日） 16時25分～16時55分（研究発表会閉会式直後）

□会場：東京家政大学 板橋キャンパス16号館 発表会場A

□参加申込：研究発表会参加者は申込も参加費も不要です。

日本美術教育研究発表会 50周年記念懇親会

□開催日時：2016年 10月16日（日） 17時00分～18時40分（50周年記念式典直後）

□会場：東京家政大学 板橋キャンパス16号館 1階カフェラウンジ ルーチェ

□会費：一般 2500円、院生・学生 2000円 ※定員70名

□参加申込：当日午前中に受付にて承ります。懇親会への参加は山口宛てメールでも可。

□持参歓迎：ワイン・清酒・洋酒のご持参を歓迎します。（記名され受付にお渡し下さい）

第50回記念 日本美術教育研究発表会 2016

平成28(2016)年10月16日(日) 会場 東京家政大学 16号館
主催 公益社団法人日本美術教育連合 後援 文部科学省(申請中)

9:30 9:45 9:55 (移動)	受付 開会式(発表会場 A)	発表会場 B	発表会場 C	発表会場 D
	発表会場 A (制度・海外)	発表会場 B (美術教育実践など)	発表会場 C (表現・鑑賞教育など)	発表会場 D (保育・発達)
10:00 10:25 (移動)	国際美術教育学会誌に見る研究動向 筑波大学 直江俊雄 A1	美術は3.11とどのように向き合っているのか ーソーシャル・プラクティスとしてのアートと教育ー 横浜国立大学 大学院 細野泰久 B1	埼玉を代表する小説家・豊田三郎童話を共同製作版画に 一般社団法人 日本版画院 中條秀憲 C1	描画の発達を促す指導に関する研究 ー知的障害児に着目してー 埼玉県立越谷西特別支援学校 小野恵 D1
10:30 10:55 (移動)	戦後の美術教科書における掲載作品の研究(18) ー美術教科書研究19年間の総括と2016年の動向ー 前宇都宮大学 山口喜雄 A2	中学校の美術部活動における作品展についての一考察 ー「アートクラブランプリ in SAKAI」の実践からー 堺市立美原西中学校 田中圭一 B2	きっかけがある画面から描く行為についての考察Ⅱ ーテーマのある活動からー 鶴見大学短期大学部 非常勤講師 山田佐映子 C2	児童の色彩感覚を伸ばす学習活動の提案 東京家政大学 4年 中西美峰 D2
11:00 11:55	〔モジュール発表〕 仏領ポリネシアのタヒチにおける美術教育 ーTuterai Tane小学校・幼稚園、Nahoata小学校、総合芸術専門学校Conservatoireでの現地調査を通してー 滋賀大学/前宇都宮大学/福島大学 新開伸也/山口喜雄/天形健 A3	〔モジュール発表〕 美術教育実践研究のテーマ創出と方法論に関する研究 東京福祉大学短期大学部/千葉大学 広島大学/東京学芸大学 手塚千尋/佐藤真帆 池田吏志/笠原広一 B3	〔モジュール発表〕 「物で遊ぶこと」から「ものを作ること」のあいだ ー移行期に見られる子どもの物への関わり方の変化と特徴ー 鶴見大学短期大学部 鮫島良一 C3	〔モジュール発表〕 図画工作科における創造活動を通した「造形的な視点」の研究 東京学芸大学 西村徳行 D3
12:00 12:10	研究発表者(全員)への諸連絡	昼食・休憩(11:55～/65分間) ※当日、近隣には昼食を購入する店はありません。 また、学食も利用できませんので昼食は持参してください。		
13:00 13:25 (移動)	美術科教育における図形の意味と色彩感情の関係 佐賀市立富士中学校/中村学園大学 姉川明子/姉川正紀 A4	リフレクティブな図工教育をめざして ーリフレクティブプラクティス及び現象学的視点からの授業研究ー 神戸市立義務教育学校港島学園小学部 小田恵子 B4	街頭紙芝居の教育的意義についての一考察 大分大学 大学院 森口由美 C4	図画工作科における子どもの主体性の研究(1) ー低学年の表現活動についてー 沖縄カトリック小学校 矢澤聡 D4
13:30 13:55 (移動)	日本万国博を契機に拓かれた美術教育のコンピテンシー ー国際児童画展、ピクトグラム、パフォーマンス等からー 東京学芸大学 山田一美 A5	アクティブ・ラーニングにおいて映像メディア表現が拓く場と「対話性」ー地域に根ざすプロジェクト課題(教科教育/図工・美術)の開発と実践を通してー 熊本大学 赤木恭子 B5	小学校教育における自分への気づき ー絵本作りの授業の提案ー 東京家政大学 4年 斎藤優美絵 C5	保育者志望生の自律的成長を育む「壁面構成」における主体的・協働的な学びを通してー 湘北短期大学 非常勤講師 三上慧 D5
14:00 14:25 (移動)	英語活動を取り入れた図画工作科の言語統合型学習(CLIL)の授業開発 大分大学 藤井康子 A6	ユーモアを基盤とした造形教育プログラムの構想 東洋大学 北澤俊之 B6	親子の美術鑑賞の意欲向上をめざす保育環境設定の提案 東京家政大学 4年 菅野綾美 C6	異年齢保育における造形活動からの考察 秋草学園短期大学 小口偉 D6
14:30	休憩(14:25～/15分)			
14:40 15:05 (移動)	フィンランドの新カリキュラムにみる教育理念と美術教育の検討 東京家政大学 畑山未央/結城孝雄 A7	鑑賞活動を重視したアクティブ・ラーニングの実践 群馬県太田市立南中学校 藤原秀博 B7	美術を専門としない短大・大学における美術学習の意義 帝京大学短期大学 大貫真寿美 C7	児童美術展における「子ども審査員」の試行 國學院大學栃木短期大学/ 真岡青年会議所理事長 名取初穂/伊澤学 D7
15:10 15:35 (移動)	日本のODAにおける造形美術教育 ー現職教員派遣の有効性ー 東京学芸大学附属竹早中学校 山田猛 A8	地域の活性化において造形活動が果たす役割 実践女子大学 井口真美 B8	韓国の現行美術科教育課程及び教科書における鑑賞教育 韓国春川教育大学校 柳芝英 C8	子どもの美的体験における比喩的イメージの活用と課題Ⅴ ー感性的材料としての言語についてー 東京家政学院大学 立川泰史 D8
15:40 16:05 (移動)	素材論 ーイタリア、レジオ・エミリア市の文化的リソースセンターREMIDAのレポートを通してー 共栄大学・他 非常勤講師 水島ゆめ A9	図画工作科における育成される能力 ーメディア研究を切り口としてー 東京学芸大学附属小金井小学校 守屋建 B9	自己表現へ誘う名画鑑賞の指導方法 ー図画工作科における授業実践ー 足立区立青井小学校 黒田潤子 C9	中学校での外部人材を活用した美術による学びの可能性 一部活動における大学生との交流活動を通してー 群馬大学大学院/みどり市立笠懸南中学校 茂木克浩 D9
16:10 16:25 17:00 18:40	閉会式(発表会場 A:10分間+準備5分間) 日本美術教育研究発表会50周年記念式典: 開式の辞、理事長挨拶、祝辞、閉式の辞(30分間+片付・移動5分) 日本美術教育研究発表会50周年記念懇親会(東京家政大学16号館1階カフェラウンジ「ルーチェ」:100分間) ※定員70名 当日午前中に申込、一般2500円・学生院生2000円(ワイン・清酒・洋酒もちり歓迎します)			

第50号記念 日本美術教育研究論集 2017

【投稿および掲載要項】

研究論集編集委員会

投 稿 要 項

- 投稿条件： 第50回日本美術教育研究発表会の研究発表者は、『第50号研究論集2017』に投稿できます。投稿論文の研究論集への掲載は、次の（１）～（５）の条件を全て満たしたものに限りします。
- （１）投稿原稿が、研究発表会における発表内容と基本的に同じ内容であること。
 - （２）投稿原稿が、研究論集の要項に適合していて、書式・分量等が守られていること。
 - （３）掲載料を期日（2016年11月9日）までに納入していること。
 - （４）作品の図版や写真・VIDEO映像等の著作物を利用する場合および写真等の肖像権は、投稿者が必ず事前に著作権者・出版社・所有者・本人もしくは保護者等の許諾を得ること。
 - （５）引用文献には、脚注または本文中に発行所・出版年・該当頁等の出典を明記すること。
- 論文査読： A群（理論・実践研究論文）・B群（実践研究報告等）・C群（研究ノート）ともに複数の査読委員が査読を行い、編集委員会での審議を経て投稿原稿掲載の可否を決定します。掲載が決定した論文は、各主査がまとめて論評し、各論評を研究論集の〈論評の部〉に掲載します。
- 原稿書式： A群・B群・C群ともに、本文および図版（写真・表・図等）等、英文サマリー（A群のみ）を含め、下記の文字数を守って下さい。
- 1頁分は、A4横組2段 23字×44行×2段＝2024字です。
- 第1頁のみ第1行目から第5行目（2段取り）までに、題目（副題）・所属・氏名を記載し、本文との間に2行（2段取り）のスペースを空け、本文は、8行目から書き始めます。
- 共通の項立て・見出しを用い、以下の番号と見出し語のみとします。
- 大項目 1. 2. 3. [全角数字]…、中項目（１）（２）（３）…、小項目①②③…。
- 掲載要項： A群・B群・C群ともに原則として8頁（C群のみ6頁も可）とし、掲載料は一般（給与を得ている内地留学生等を含む）15,000円、院生・学生8,000円です。
- 2頁増ごとに6,000円を加算し、10頁では一般21,000円、院生・学生14,000円です。
- 増頁の上限は12頁で、一般27,000円、院生・学生20,000円です。
- 原稿は、①ワープロ等で印字し、②テキスト形式で保存したCD-R等を合わせて提出すること。CD-R等の未提出の場合は、一般・学生とも加工料込み30,000円です。
- カラーページは1頁につき12,500円を加算します。
- 抜き刷り（一律50部）は、8頁モノクロで7,000円です。2頁増ごとに2,000円を加算します。（抜き刷りのカラーページは、1頁ごとに2,000円を加算します。）
- 掲載料は投函以前に納入し、送金の証明書（利用明細書のコピー等）を同封して下さい。
- 口座記号番号：00170-1- 86036（右寄せで記入） 郵便振込です。
- 加入者名： 社団法人日本美術教育連合
- ご依頼人：（〒）おところ・おなまえ・電話番号・所属
- 通信欄： 例 掲載料15,000円（一般、8頁）+増頁分6,000円（2頁増の場合）＝21,000円（計10頁）
- 抜き刷りを希望の場合は、その旨明記し、必要な金額を加算してください。
- ※査読の結果、掲載に至らない場合は10,000円（院生・学生は5,000円）のみ返金となります。抜き刷りの料金については、全額返金します。

〈投稿原稿〉11/9（水）必着

- 投稿メ切： 2016（平成28）年11月9日（水）必着。A群・B群・C群とも、①正1部と副4部（コピー可）計5部、②原稿CD-R等、③投稿エントリーシート、④送金証明書（エントリーシートに貼付）を提出して下さい。
- 投稿原稿は、完全原稿とし、締め切り期日以降の差し替え・変更は認めません。
- ただし、研究論集編集委員会が修正を求めるときは、この限りではありません。
- なお、発行日は2017（平成29）年3月31日を予定しています。
- 送付先： 〒173-8602 東京都板橋区加賀1-18-1
東京家政大学 家政学部 児童教育学科 結城孝雄 宛

連絡・問合せ先

- 詳細連絡： 研究発表会当日に詳細を連絡します。口頭発表者は時程と場所を二次案内で確認して下さい。
- 問合せ先： 研究論集編集委員長 小林貴史：042-637-8111（代） ktakashi@zokei.ac.jp（東京造形大学）

連合ライセンス講座 美術教育力養成講座 第3期1次 「海外美術教育ワークショップ－明日の授業が変わる－」 連続講座を終了して

事業局長 水 島 尚 喜

平成28年8月22日（月）、23日（火）の両日にわたって、連合主催の連続講座「造形・美術教育力養成講座【海外美術教育ワークショップ－明日の授業が変わる－】（会場：聖心女子大学）」が、開催されました。近年の美術教育の国際化、来年に控えたInSEA世界大会（於：韓国大邱）等を踏まえたプログラム内容に、多くの受講者が熱心に取り組みました。

詳細及び分析につきましては、次号連合ニュースにてお知らせいたします。



仲瀬先生の笑顔溢れるワークショップ



直江先生「マリオン・リチャードソンとは」



小林／北澤先生「回転ろくろの動きからの発想展開」

公益社団法人日本美術教育連合 平成28年度 第1回理事会議事録

1. 招集通知 平成28年3月13日（日）
2. 開催日時 平成28年4月24日（日）午後1時15分～1時30分
3. 開催場所 聖心女子大学
4. 出席した理事の氏名 大坪圭輔 西村德行 水島尚喜 山口喜雄
5. 委任状による出席理事の氏名 結城孝雄
6. 議事の経過の要領及び議案別議決の結果

互選により大坪圭輔理事が議長に就任し、開会を宣した。次に、結城孝雄理事の議長に対する委任状を確認し、直ちに議案の審議に入った。

第1号議案 代表理事（理事長）の選出

理事の改選にあたり、定款の規定に従って、理事の互選により代表理事（理事長）を選出する旨が議長より宣言され、慎重審議の結果、全員一致をもって大坪圭輔理事を代表理事（理事長）とすることが決定された。また、任期は、定款に従い2年であること及び本件を第6回定時総会に報告することが確認された。

第2号議案 監事候補者の選出

議長より監事候補者として、北澤俊之氏、宮坂元裕氏の2名が提案され、慎重審議の結果、可決決定された。また、任期は定款に従い2年であること及び本候補者を第6回定時総会に諮ることが確認された。

第3号議案 運営委員候補者の選出

議長より運営委員候補者として、天形健氏、榎原弘二郎氏、奥村高明氏、北川智久氏、小林貴史氏、直江俊雄氏、仲瀬律久氏、長田謙一氏、新関伸也氏、橋本光明氏、林耕史氏、福本謹一氏、藤崎典子氏、三澤一実氏、茂木一司氏、山田一美氏の16名が提案され、慎重審議の結果、可決決定された。また、任期は2年にすること及び本候補者を第6回定時総会に諮ることが確認された。

以上予定された議事が終了したので、議長は閉会の挨拶を述べ、午後1時30分解散した。

公益社団法人日本美術教育連合 平成28年度 第2回理事会議事録

1. 招集通知 平成28年5月25日（水）
2. 開催日時 平成28年6月19日（日）午前11時00分～12時15分
3. 開催場所 東京家政大学
4. 出席理事の氏名 大坪圭輔 西村德行 山口喜雄
5. 委任状による出席理事の氏名 水島尚喜 結城孝雄
6. 出席した監事の氏名 北澤俊之 宮坂元裕
7. 定款の規定に従い大坪圭輔代表理事（理事長）が議長に就任し、出席の状況及び委任状を確認し、全員出席であることを確認した。次に第7期平成28年度定時総会の議事録、並びに第1回理事会の議事録を確認し、直ちに議案の審議に入った。

第1号議案 運営委員会担当及び各局の構成について

大坪圭輔理事長より別紙1を基に第7期平成28年度運営委員会構成案が提示され、国際局局員として佐藤真帆氏を、事務局局員として畑山未央氏を委嘱することを含めて、慎重審議の結果、第1号議案は全員一致をもって可決決定された。

第2号議案 平成28年度造形美術教育力養成講座について

担当の水島尚喜理事を代行して、西村德行理事より別紙2を基に講座の概要案が提示され、慎重審議の結果、第2号議案は全員一致をもって可決決定された。

第3号議案 平成28年度第50回記念日本美術教育研究発表会について

山口喜雄理事より別紙3を基に研究発表会の概要並びに申し込み方法などについて提案があり、慎重審議の結果、第3号議案は全員一致をもって可決決定された。尚、50回記念として、教育研究発表会での特別プログラム及び記念祝賀会の開催、研究紀要に掲載する年譜等の作成について検討がされ、運営委員会の意見を聴取することが確認された。

報告事項1 事務局運営について

結城孝雄理事（事務局長兼任）の病休にともない、大坪圭輔理事長より事務局運営についてのメモが別紙4を基に報告された。

報告事項2 InSEA役員改選について

大坪圭輔理事長（国際局運営委員長兼任）より、本年末に実施されるInSEA（国際美術教育学会）の役員選挙に向けて、アジア地区評議員に佐藤真帆氏が立候補することになった旨報告があった。

報告事項3 連合ニュース147号について

大坪圭輔理事長より、運営委員会において担当の北川智久運営委員より進捗状況について報告がある旨報告があった。

報告事項4 その他

大坪圭輔理事長より、大坪圭輔理事長が全国造形教育連盟役員として委嘱を受けることについて報告があり、運営委員会で意見を聴取することになった。

以上をもって議案のすべてを終了したので、議長は閉会の挨拶を述べ、午後12時15分散会した。

国際局より

『InSEA (International Society for Education through Art : 国際美術教育学会)

第35回 韓国大邱 (Taegu) 大会』について

□概要

期 日 2017年8月7日(月)～11日(金)

場 所 大韓民国 大邱市 国際展示会議場 (Exhibition and Convention Center)

テーマ Spirit ∞ Art ∞ Digital

□研究発表

発表申込み(発表概要提出) 2016(平成28)年11月6日

審査結果の通知 2017(平成29)年2月28日

□参加登録費

		早期 (2017年3月31日まで)	通常
一般	InSEA会員	USD 330	USD 390
	会員外	USD 390	USD 450
学生	InSEA会員	USD 230	USD 290
	会員外	USD 290	USD 350
同伴者		USD 150	

□大会ホームページ <http://www.insea2017.org/>

事務局だより

1. 第50回記念 日本美術教育研究発表会2016 開催迫る！

10月16日(日)に行われる、第50回記念 日本美術教育研究発表会2016(文部科学省後援予定)が東京都板橋区加賀の東京家政大学板橋キャンパスにて開催されます。多数のお申込ありがとうございます。詳しくは前掲のご案内をご参照ください。本年度は36件の研究発表が予定されています。広く日常的な実践のなかで児童生徒の姿をもとに紡がれた報告から、理論的・歴史的背景など科学的な精査から組み立てられた研究まで、多彩な発表が展開されることが期待されます。昨年度より発表会会費として、概要集代500円を戴く事になりました。運営上の経費としてご理解下さい。

2. 平成28年度(2016年度)会費納入のお願い

本年度会費納入のお願い

平成28年度会費 6,000円 を 納入してください。

(公社)日本美術教育連合 郵便振替00170-1-86036

※期限が過ぎておりますので、お早めに納入してください。※

※インターネットバンキングでもお支払いいただけます※

*前回の連合ニュースNo.147に同封した振り込み用紙をご利用ください。(手数料はご負担ください。)
お名前を記載した振込用紙に、納入済みの方は○、未納の方は－が印字されています。ご確認ください。

*会員の皆様からの納入状況は決してよくありません。今一度、会員の意識にたち、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

*インターネットバンキングでもお支払いいただけます。その際、お名前や会費年度等、ご記入いただきますよう、宜しくお願いいたします。

■お問い合わせ先：事務局 西村 徳行

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1 東京学芸大学

芸術・スポーツ科学系 美術・書道講座 美術科教育学分野

TEL+FAX 042-329-7608 (西村研究室直通)

E-mail: nishimur@u-gakugei.ac.jp